

セキュリティポリシー

1. 目的

本基本方針は、当社が保有・管理する情報資産を、漏えい・改ざん・破壊・紛失・不正アクセス等の脅威から保護し、事業活動の継続と顧客からの信頼を確保することを目的とする。

2. 適用範囲

本方針は、当社の役員・従業員・契約社員・派遣社員および当社の情報資産を取り扱うすべての関係者に適用する。

対象となる情報資産には、電子データ、紙媒体、システム、ネットワーク、端末、クラウドサービス等を含む。

3. 情報セキュリティの基本原則

当社は、情報資産を以下の三要素に基づき適切に管理する。

- 機密性：許可された者のみが情報にアクセスできること
- 完全性：情報が正確かつ改ざんされていないこと
- 可用性：必要なときに情報を利用できること

4. 情報セキュリティ管理体制

当社は、情報セキュリティ対策を推進するため、以下の体制を整備する。

- 情報セキュリティ責任者（CISO）の設置
- 情報セキュリティ委員会の設置
- インシデント発生時の報告・対応体制の整備

5. 情報資産の管理

当社は、情報資産を分類し、重要度に応じた管理基準を定める。

- 情報資産の棚卸し
- 機密区分（例：極秘・社外秘・内部・公開）
- アクセス権限の最小化
- 保管・持ち出し・廃棄のルール化

6. 技術的セキュリティ対策

当社は、情報システムの安全性を確保するため、以下の技術的対策を実施する。

- パスワード管理基準
- 端末の暗号化
- 不正アクセス防止（ファイアウォール、IDS/IPS）
- マルウェア対策
- 無線 LAN の認証強化（WPA2/WPA3、証明書認証）

7. 物理的セキュリティ対策

- 施錠管理
- 書類・媒体の保管ルール

8. 教育・訓練

全従業員に対し、定期的に情報セキュリティ教育を実施し、リスク認識と遵守意識を高める。

9. インシデント対応

情報セキュリティインシデントが発生した場合、迅速に報告・分析・復旧 7 を行い、再発防止策を講じる。

10. 監査と見直し

当社は、情報セキュリティ対策の有効性を確認するため、定期的に内部監査を実施し、必要に応じて本方針を見直す。

11. 法令遵守

当社は、個人情報保護法、著作権法、その他関連法令およびガイドラインを遵守する。